

【考察】

判定基準の「よくあてはまる（たいへんよい）」と「ややあてはまる（よい）」を
あわせた肯定的な回答は、次の表のとおりです。

	評価項目 ()は、児童アンケートの際に使用した言葉です。	保護者 (%)	児童 (%)	差 保-児
1	進んで学習に取り組んでいる。(学習することは楽しい。)	66	85	-19
2	自分の考えや意見を進んで発表している。	56	60	-4
3	時間やきまりを守って生活している。	78	88	-10
4	宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。	72	85	-7
5	安全に気を付けて生活している。	94	93	+1
6	交通ルールを守っている。	96	95	+1
7	友達と仲よく生活している。	98	97	+1
8	きちんと返事やあいさつをしている。	90	74	+14
9	学級で安心して生活している。	99	87	+12
10	学校は、情報を保護者に適宜知らせている。	94		
11	学校は、充実した体験活動を行っている。(楽しい。)	96	99	-3
12	学校は地域や保護者の方が関われる機会を設定している。 (楽しい。)	92	87	+5
13	学校はICT機器を効果的に活用している。(楽しい。)	80	97	-17
14	学校は安全面の配慮を適切にしている。 (安全の学習は役に立っている。)	97	88	+9

※80%を下回った項目と、
保護者と児童の差が10%以上あった項目は、
塗りつぶしがしてあります。

【成果：80%以上の肯定的な評価項目】

5～7と9～14までの項目については、85%以上の肯定的な結果となりました。特に、「7：友達と仲よく生活している。」については、最も肯定的な評価でした。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行して以降、友達との交流を楽しんでいる様子が見られます。

【課題A：保護者と児童の評価の差が10%以上ある評価項目】

- 「1：進んで学習に取り組んでいる。(学習することは楽しい。)」については、児童は学校での学習を中心に評価した一方で、保護者の皆様は、ご家庭での学習の様子について評価したものではないかと推察いたします。今後より一層家庭での学習にも自主的に学習に取り組めるように指導を進めて参ります。
- 「3：時間やきまりを守って生活している。」については、保護者評価が児童評価より10%低くなっています。休日や長期休業中の日課などを決めるなど、より計画的に生活できるように指導を進めて参ります。
- 「8：きちんと返事やあいさつをしている。」については、児童評価が保護者評価より14%低くなっています。今後も児童会を中心にあいさつ運動を継続して実施するとともに、あいさつや返事がよくできた際にそのよさを称賛し、あいさつや返事に関する自己肯定感を高めて参ります。
- 「13：ICT機器を効果的に活用している。」では、保護者評価が児童評価より17%低くなっています。授業中、タブレット等を活用しておりますが、今後は、授業参観や家庭学習での積極的な活用を検討して参ります。

【課題B：保護者評価において80%を下回る評価項目】

1～4の学習面についての項目が低い結果が出ております。特に「2：自分の考えや意見を進んで発表している。」については、保護者が56%、児童が60%です。これは、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行してからも主体的で対話的な学習場面が十分に行われていなかったことも一因であると考えます。今後も感染症の予防を講じながら、主体的で対話的な深い学びのある学習活動を実践して参ります。

【その他の欄にいただいたご意見(Q)・ご要望に対する回答(A)】

- Q「学校の施設など」について：「壊れたままの遊具などがあります。」「体育館南駐車場の出口左側のミラーが、ススキで隠れてしまっていて見えないです。」のご意見
- A 上三川町委託業者による遊具点検の結果、築山に設置してあるすべり台とジャングルジムに危険箇所があり、使用禁止にしています。現在、町に遊具の撤去と新規遊具の設置を要望しています。また、体育館南駐車場の出口左側のミラー付近にあるススキ等は除去しました。
- Q「ICT機器の活用」について：「タブレットの活用が他市町と比較し、ほとんどないように思います。授業中及び家庭学習での積極的な活用をお願いしたい。」のご意見
- A 上記の「課題A13」にもありますとおり、今後は、授業中及び家庭における効果的な活用を推進して参ります。また設問3の「時間やきまりを守る」ことと合わせ、タブレットやゲーム機器などを適切に使用できるよう「情報モラル」の指導にも力を入れて参ります。
- Q「登下校」について：「遊びながら登下校していることがあり、とても危ない。」のご意見
- A 現在、実施している登校班会議や一斉下校時に安全教育担当から随時指導していくとともに、見守り隊や家庭と連携し、児童の「ルールを守って安全に登下校する」という意識をさらに高めて参ります。
- ※ このほか、「挨拶が思ったより希薄である。」「見守り隊の方が少ないので、目が届いていない。」などのご意見をいただきました。学校内で検討させていただき、今後の教育活動を進める際の参考とさせていただきます。大変ありがとうございました。